



市議会だより

きたあきた

No. 49

平成28年8月1日発行

6月定例会

- 本定例会の審議 2
- 議案等表決状況／賛成・反対討論 3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～9
- 所管事務調査報告／林活議連総会 10
- 請願・陳情／人事案件 11
- 市民の声／議員表彰／あとがき 12

日々の訓練の成果を！
消防力の強化を図る
～ 平成28年度 北秋田市消防訓練大会 ～

平成28年度一般会計補正予算

3億1100万5千円を原案可決

平成28年北秋田市議会6月定例会は、6月16日（木）から28日（火）までの13日間の会期で行われました。

今定例会では、承認案8件、条例案3件、予算案11件など、提案された議案34件及び陳情2件の内、継続審査とされた1件を除き、それぞれ、承認、採択、可決されました。

また、人事案件として、監査委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦の2件が追加提案され、それぞれ同意されました。



34議案が原案のとおり可決された6月定例会

今定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- 専決処分報告
- 市道の廃止と認定について
- 財産の取得について
- 北秋田市監査委員の選任
- 人権擁護委員候補者の推薦など

主な補正予算

平成28年度一般会計補正予算案は、歳入歳出それぞれ3億1100万5千円を追加し、予算総額を248億365万9千円とするものです。

歳出の主なものについて、▽旧中央公民館耐震診断業務委託料361万3千円、▽中山間地域等担い手収益力向上支援事業補助金1220万5千

森吉山樹氷の魅力を発信

円、▽地域産品磨き上げ事業負担金910万円、▽伊勢堂岱遺跡ブランド創造事業費委託750万円などを計上しています。

樹氷を有する観光地として有名な八甲田山、蔵王の関係者を交えて樹氷の魅力を確認し、樹氷観光の可能性を考える森吉山樹氷フォーラムを開催しました。日本三大樹氷観光地へ向け東京都内の旅行会社等のツアー計画者を現地に招聘し森吉山の樹氷の良さを認識してもらうため、森吉山樹氷ツアー旅行業者招聘業務委託131万6千円を計上しています。

また、360度パノラマカメラを用いて、インターネットで樹氷の状況等を配信計画しており、森吉山樹氷情報発信業務委託料500万円を計上しています。

森吉山樹氷の特徴を引

陳情は2件

き出した観光地づくりを推進することで、国内はもとより海外からの誘客などさらなる交流人口の増加を図っていくこととなります。

陳情2件のうち1件は継続審査となり、教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情は賛成多数で採択され、国に意見書を提出することとなりました。

監査委員などの選任に同意

監査委員は、山形聡伸氏（60）Ⅱ松葉町Ⅱの選任について無記名投票を行い、賛成18票、反対1票の賛成多数で同意しました。また、人権擁護委員候補者の推薦は、柴田節子氏（57）Ⅱ五味堀字五味堀Ⅱを推薦することとなりました。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議 案 名	所属会派・議員氏名 採決結果	採決結果	緑風・公明				みらい					共産党 議員団		清和会		新創会		無会派				
			関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成２８年６月定例会／平成２８年６月２８日採決】																						
北秋田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める」意見書提出の陳情書について	継審	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●

※全会一致の可決、採択については除いています。また、無記名投票の場合は賛成・反対の票数を記載します。
 ※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、松尾秀一議長は採決には加わりません。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

▼承認第7号 北秋田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論



板垣淳議員

附則6条では、保育にあたる人、2人のうち1人が保育士の資格がない人でもよいと質を低下させる内容となっている。保育士がいけないのならやむを得ないが、資格をもっている人で保育の仕事に就いていない人が全国で70万いるというのに半分以上は無資格でいいというのは道義がない。保育充実のために処遇改善をし安定して働ける職場を目指すべき。

反対討論



福岡由巳議員

児童福祉法第1章総則に示されています「保育士は、専門的知識および技術をもって児童の保育および児童の保護者に対する保育に関する指導を行う」と専門性が明確に示されている。保育士は資格取得が大前提であり保育士でなくても市町村長が認めれば保育士の仕事に従事できるというのは明らかに違法である。

賛成討論



佐藤文信議員

条例案にもある附則というところで特例というような条文の中で、第6条7条の保育士に関わる部分について、教職の立場

賛成討論



武田浩人議員

厚労省の子どもの医療制度の在り方等に関する検討会が5月から始まり今夏までに結論を出すとしている。各省庁の次年度の概算要求の取りまとめが7月であり、この時機に意見書を出すことが大事であり、継続審査では時機を逸してしまう。

反対討論

板垣淳議員

▼陳情第38号 「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める」意見書提出の陳情について
 ※継続審査に対する討論となります。

など十分対応できるとした条例改正である。処遇改善などが進まず保育士の確保が難しいという場合は、特例でもって採用してもよいとの条例であると解釈する。

日本1億総活躍プランには、子どもの医療制度の在り方に関する検討会での取りまとめを踏まえ国民健康保険の減額調整措置について見直しを含め検討し年末までに結論を得るとしている。この問題が政府内で子育て支援、地方創生、地域包括ケアの展開の観点から地方自治体の意見を聞きながら、慎重に検討が進められている状況にあることを理解しなければならぬ。

その他、陳情第38号賛成討論（継続審査反対）が福岡由巳議員からありました。

※継続審査とは・・・

委員会に付託された案件について、当該会期中に審査が終了できず、議会閉会中も引き続き審査を行うことをいいます。委員会が継続審査を求めるときは、本会議の議決が必要になります。

市民福祉

地域福祉計画の概要と
方針は

当委員会に付託された案件は、承認4件、予算案6件、陳情1件の計11件でした。

平成28年度北秋田市一般会計補正予算（所管分）については、地域福祉計画の概要と、策定後の方針についての質疑があり、当局からは「平成28年度から29年度で作成することとしており、今年度はアンケート調査、それを基にした座談会を実施し、アドバイザーを交えたフォーラムの内容を計画しています。講師謝礼

家庭的保育事業等の
基準条例改正

北秋田市家庭的保育事業

等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定については、委員から「条文の保育士と同等の知識及び経験を有すると市町村長が認める者とは、具体的にどのような人を指すのか」との質疑があり、当局からは「6月に県から示された案によると、保育士の資格は有しないが、保育所、または認定こども園において、常勤で1年以上の経験を有する者や、子育て支援研修を修了した者等と示されております」との答弁がありました。

また、委員から「保育士の資格を持つ人が全国で数十万人いるといわれる中で、

保育士の資格を有しない人を加えるという改正内容は矛盾しているという疑問を持つが、どのように考えているのか」との質疑があり、当局からは「矛盾している感はありませんが、国から条例に定めるように決められており、現在、当市において該当する保育所はありませんが、お母さん方が就労している事業所などで、この家庭的保育事業というのは出てくる可能性があり、市としても将来を見据えたうえで、保育士を確保していくことを目指していかなくてはならないと思っています」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、賛成多数で原案のとおり、賛成多数で原案のとおり

り承認することに決しました。その他の当委員会に付託された案件は、審査の結果、全会一致で可決とし、陳情は賛成多数で継続審査すべきものと決しました。

（委員長 小笠原 寿）



2カ年にわたり作成(スタッフ研修会の様子)

産業建設

森吉山樹氷
日本三大樹氷観賞地に

当委員会に付託された案件は、承認2件、予算案5件、単行議案4件の計11件でした。

平成28年度北秋田市一般会計補正予算（所管分）に

ついては、商工観光課関係で、「地域産品磨き上げ事業とは何を行うのか」との質疑がありました。当局からは「秋田犬ツーリズムの中のひとつの事業として大

館北鹿地域の産品を発掘し、地域経済を活性化させる内容で、現在着目している枝豆だが、今回は最初の年なので、それをどのように売り込むか、市場調査、または見本市へ参加し、レストランでのプロモーション活動などレストランで使っていただくという内容。それから、マーケティング開発

関係の農業者との交流等が位置付けされている」との答弁がありました。また「森吉山樹氷」の情報発信業務委託について、「業者に委託すると思うが、どのような内容か。また細かいことは決まっているのか」との質疑がありました。当局からは「360度パノラマカメラや、売り込みの

ためのネット配信など、森吉山阿仁スキー場を管理している特定非営利活動法人森吉山と今後協議を進め、業者まかせということとは考えておりません」との答弁がありました。また、クウインス森吉の関係で、「3カ月間で指定管理者が見当たらず、さらに3カ月、市直営というこ

総務文教

防災ラジオ導入に向け 調査を開始

当委員会に付託された案は、承認4件、条例案3件、予算案2件、陳情1件の計10件でした。

平成28年度北秋田市一般会計補正予算（所管分）について、委員から「災害対策費の防災ラジオ基本調査等業務委託について、防災ラジオの機能、今後の経費についての関わりは」との質疑があり、当局からは「経費について、この基本調査を受け、変更もあり得るが、個別受信機という形で全戸配布した場合、約3

とだが、3カ月間で指定管理者の見通しはあるのか」との質疑がありました。当局からは「4月の募集時点では、2社が現場説明に来ており、市としては、何とかなるのではないのかと期待感がありました。しかし、応募最終日には、業者の応募はありませんでした。今回もまた、明後日、現場説

明会という形で募集しており、指定管理料等を増やし、若干の見直しをしましたところ、新たに説明会に1社が来る予定となっており、期待している」との答弁がありました。

下水道事業 耐震化工事

上下水道課関係では、「耐震化事業調査で、国から3050万円の補助があるが工事を行うとすれば、補助事業になるのか」との質疑があり、当局からは「当然、補助対象になるので、そのためにも耐震化を実施する必要がある」との答弁がありました。

以上、審査の結果、当委

員会に付託された案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 庄司憲三郎）

小中学校再編計画について、「検討委員会の人選と今後のスケジュール、委員会にはゼロベースで望むのか」との質疑がありました。

当局からは「検討委員会の人選は、大きく分け地域の代表者として自治会長を中心として選定を予定している。また将来のことにも関わってくることから、小中学校のPTA代表者のほか、保育園保護者会の代表者、小中学校の校長会の代表者、その他に市内の有識者ということの人選を検討しており、6月中には決定する。今後のプランとして、7月中旬に1回目の検討委員会を開催し、ある程度のものが出来た時点で、9月か

ら10月にかけて、各地区で説明会を行い、その後、パブリックコメントをいただいた上で、再度検討委員会開催を予定している。検討委員会開催にあたっては、ある程度の原案を作成し、それを示した上で様々な意見をいただく予定である」との答弁がありました。

北秋田市国民健康保険税

条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「国保税の課税限度額が上がり、改正により影響を受ける世帯数と国保会計への影響はどうか」との質疑があり、当局からは「限度額を超える世帯は36世帯、軽減措置の改正により、5割軽減が10世帯、2割軽減が



日本三大樹氷観賞地に(森吉山樹氷)



防災ラジオ（イメージ）

17世帯それぞれ増える。国保税への影響は引き上げにより91万円増額、軽減措置の拡充により56万円が減額となる」との答弁がありました。

（委員長 佐藤 重光）

以上、審査の結果、当委員会に付託された案件は、全て全会一致で原案のとおり可決及び採択すべきものと決しました。

小中学校再編計画

また、防災ラジオはプッシュ式で、強制的にスイッチが入り、こちらの情報を提供させていただくことになるとの答弁がありました。

活かそう市民の声 市政を問う

◎一般質問は、「一問一答方式」と「総括質問方式」の選択制としています。

一般質問



各議員の質問に答弁する津谷市長



熊本地震のご冥福を祈り黙祷をささげました。

一般質問は、6月20日・21日に行われ、7名の議員が登壇しました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

① 大森光信 議員

- 1 ふるさと寄附金
- 2 道路維持
- 3 経済政策

[P.6]

② 福岡由巳 議員

- 1 プロポーザル方式による業者選定
- 2 北秋田市制施行15年史の編纂
- 3 北秋田市文化遺産の指定拡充

[P.7]

③ 三浦倫美 議員

- 1 林業振興
- 2 がん補正具補助
- 3 支援困難者対策

[P.7]

④ 武田浩人 議員

- 1 水道管の老朽化対策

[P.8]

⑤ 久留嶋範子 議員

- 1 熊本地震の教訓から何を学ぶ
- 2 ごみの減量化
- 3 高校生の行政参加

[P.8]

⑥ 板垣 淳 議員

- 1 医療について

[P.9]

⑦ 山田博康 議員

- 1 観光施策
- 2 市民病院

[P.9]

◆一般質問とは？

議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めるもので、定例会ごとに行なわれます。

本市経済は厳しい状況



大森 光信 議員 (みらい) (一問一答方式)

【答】 旅行業界や地元企

【問】 自治体側も交流人口を増やすために本市に訪問してもらうような体験型のメニューも追加したらどうか。

【答】 地元業者、観光物産協会と連携しながら意見を反映させた返礼品の充実にも努めていきます。

【問】 具体的な目標設定をしながら、件数1万件と、具体的な目標設定をし、それに向かって方法論を採っていくべきと考えるが。

【答】 具体的な目標金額や件数を設定することは考えていません。

【問】 北秋田ファンになってもらうような工夫はないか。

【答】 地元業者、観光物産協会と連携しながら意見を反映させた返礼品の充実にも努めていきます。

【問】 今後の状況を見ながら対応していきます。寄附者がプロジェクトに投資できるイメージを作ることができるよう、寄附金の使途分類をさらに細分化し、寄附者が使途を把握できるような仕組みを構築していきます。

【答】 今後の状況を見ながら対応していきます。寄附者がプロジェクトに投資できるイメージを作ることができるよう、寄附金の使途分類をさらに細分化し、寄附者が使途を把握できるような仕組みを構築していきます。

【問】 平成25年度秋田県市町村経済計算をどう読むか。

【答】 平成25年度の総生産額は県全体で0.2%増加しているが、当市では前年対比マイナス3.1%となっており、厳しい状況にある。

【問】 要望の適否は期限を設けて、回答するべきではないか。

【答】 回答は要望のあった日から2週間以内を目処としています。

【問】 平成25年度秋田県市町村経済計算をどう読むか。

【答】 平成25年度の総生産額は県全体で0.2%増加しているが、当市では前年対比マイナス3.1%となっており、厳しい状況にある。

【問】 要望の適否は期限を設けて、回答するべきではないか。

【答】 回答は要望のあった日から2週間以内を目処としています。



ふるさとチョイス(返礼品の一例)

い数値であると感じています。

市長：2週間で回答している
議員：要望の適否の回答は

【問】 今後の状況を見ながら対応していきます。寄附者がプロジェクトに投資できるイメージを作ることができるよう、寄附金の使途分類をさらに細分化し、寄附者が使途を把握できるような仕組みを構築していきます。

【答】 今後の状況を見ながら対応していきます。寄附者がプロジェクトに投資できるイメージを作ることができるよう、寄附金の使途分類をさらに細分化し、寄附者が使途を把握できるような仕組みを構築していきます。

【問】 平成25年度秋田県市町村経済計算をどう読むか。

【答】 平成25年度の総生産額は県全体で0.2%増加しているが、当市では前年対比マイナス3.1%となっており、厳しい状況にある。

問題多すぎる業者選択



福岡 由巳 議員（無会派）
〔一問一答方式〕

議員…PRロゴ活用遵守せず

市長…活用できない場合もある

平成27年度森吉山

イメージアップ事業委託プロポーザル方式による事業者選定は検証されたか。

業者選定実施要綱は問題なく、実地検証も行っている。

合格したエフジィ武蔵（以後、武蔵）は、当市観光PRロゴの活用を遵守していない。

すべてのものに使う訳ではない。

募集要項には「いずれの項目も観光PRロゴを活用すること」となっている。

どうしても入れられない場合も出てくる。

産経新聞2月27日付は観光PRロゴがない。更に、武蔵は応募書類

の時点から観光PRロゴを活用していない。逆に、次点は忠実に活用している。この点から武蔵は失格でなかったか。

審査は尊重したい。失格と考えるべき。

また、今回の評価点は140点満点中副市長は武蔵が138点、次点は12点、失格となり

得る武蔵と観光PRロゴ活用点に忠実な次点の評価点がなぜこうなるのか。

決定的な決め手は何か。考慮して採点した。

非常に疑問である。プレゼンテーションは行ったのか。

書類審査で終了している。

実施要綱第9条（3）不履行。また、募集公告では参加要件に「原則として市内の観光資源、情報に精通し云々」とあるが武

蔵の会社案内では、08年から15年まで秋田県とは一切関わりがない。これがなぜ精通なのか。

武蔵が発行する雑誌二で当市を紹介されたので熟知しているものとする。

次に、契約は何月何日に行われたのか。

10月15日。

今回の業者選定は実施要綱を守らず、かつ問題が多すぎ当局の猛省を求める。最後に15日合格を決め、即日に契約できるのか。

可能である。

PRロゴの活用を半強制



三浦 倫美 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

林業CLT普及参画を

ら移住希望者への林業就業も推進します。

議員…がん補正具補助実施を

市長…29年度補助実施を検討

がん補正具補助を。患者さんの就労や社会参加応援の重要施策であり、能代市、潟上市の補助調査実施。

秋田市民病院は、平成30年度地域がん診療病院指定に向け、平成28年度にがん相談支援センターを設置。当市は、平成29年度からのがん補正具補助実施を検討。

社協へ委託している。成果と課題、連携体制は。

昨年年度、自立相談支援事業と家計相談支援事業に合計137件の相談。（65歳以上約47%50歳代約21%）（相談のみ41件、他制度機関へ36件、支援プラン開始23件の内14件が自立や孤立解消の方

向へ一定の成果）今後

支援体制の連携拡充へ

北秋田くらし相談センター



水道管の老朽化対策



武田 浩人 議員（緑風・公明）
〔一問一答方式〕

議員：資産管理の策定期間は
市長：統合簡水の完成後に

3万m存在し、4割近い配管が耐用年数を経過している状況です。漏水の修繕状況は、平成25年度から平成27

問 水道管更新の優先順位は。

問 平成26年度の無効水量は26万1千988m³で、年間総配水量の約20%です。漏水との関連性は。

答 無効水量とは漏水等の原因により、把握できない水量を表したものです。平成26年度の県平均の有効水量率は88・6%でした。当市は80・7%です。

鷹巣上水道は昭和46年に事業を開始し、総管路延長約8万4千mの配管により給水を行っております。事業開始から45年が経過し、現在までも配管更新の設備投資を順次行っており、耐用年数を経過した配管が約

成について。

答 水道は生活に欠かせない設備なので、市民からの要望や意見をお伺いし、お互いが情報を共有して、合意形成を得ることが重要であると考えております。

水道事業経営戦略



問 事業費の財源見通しについて。

答 有利な起債と内部留保資金等で実施する予定です。また、併用開始から実質的な料金改定をしていないので将来的には検討が必要と考えております。

問 今後の更新事業等での、市民との合意形成

熊本地震の教訓から



久留嶋 範子 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

議員：3Rの促進で減量化へ

市長：市民とともに実践する

る可能性がある。市の対策は。

答 市で想定される被害が最大の内陸地震は能代断層帯によるもの。最大震度6強で、100棟を超える建物被害が想定されます。地域

防災計画に従い、部署ごとに分掌事務を定め、職員個々の役割を明確にしているほか、災害派遣要請や避難、救助物資調達、医療救護などの計画を定めています。

問 資源循環型社会の構築に、ごみを減らす、繰返し使う、再資源化する3Rの促進とごみをゼロにする運動の徹底で減量を進めるべき。

答 3Rは欠かせない取り組みとして市民とともに実践していく必要があります。広報や出前講座などを通して、きめ細かな啓発とサポートに努めていきます。

学生を対象にしたことも議会を開催。議会主導で展開されている他市の事例もあり、議会との連携を図り方策を考えていきたい。

小型家電回収ボックス



問 若者の政治への関心を高めるための施策は。

答 次代を担う子どもたちに市への関心を持つってもらうため、小中

問 熊本地震と同じ内陸地震が秋田でも起こ

病院縮小計画に反対を



板垣 淳 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

そのことで病棟閉鎖に追い込まれ、赤字が増えたのであった。もともと赤字だったが、それでも市の持ち出しはせいぜい2から4億円で今の市民病院の半分。構想発表が一層の意思不足、赤字増を招き、結局廃止となってしまう。今回の県の計画

は米内沢病院の二の舞になる危険性さえあるのではないかと。〔答〕そうならないように、この計画に異論を唱える行動をとる。県は北秋田市だけでなく全県のベッド数を削減する方針なので、ほかの地域も巻き込んで行動したい。

議員：元米病職員に謝罪せよ

市長：答弁は差し控える

〔問〕米内沢病院裁判が終結した。判決で裁判長は、津谷市長の行為を「不誠実」「違法」と断罪した。市のトップが裁判所からこのように言われたことはとても恥ずかしい。市の政策が違法と言われたのではなく、津谷市長が職員へ約束を破ったことが違法と言われたのだから、慰謝料は市会計からでなく、市長自身で出すべき。そして原告・元職員に直接

会って謝罪すべきではないか。〔答〕裁判についての答弁は差し控える。



縮小計画がたてられた北秋田市民病院

経営再建は大丈夫か



山田 博康 議員（清和会）
〔一問一答方式〕

して皆さんからいただいている」として、「私も頑張るので皆さんも頑張ってください」と語っており、そのことで従業員との意思疎通は図られていると思います。

〔問〕経営改善計画で示された内容は具体的実行に向けた取り組みが

議員：地域資源の活用

市長：観光振興に活用する

〔問〕観光振興を目的に市民に参加していただき、地域資源を掘り起こし、有効活用して誘客を促進するべきと考えるが、具体例として阿仁河川公園の桜を角館、弘前を結ぶ桜列車運行の際に人混みを避け阿仁川の清流と鉾山遺跡の中で芽吹きの季節大自然を満喫しながら静かな環境で見事な桜見物ができることは訪れた方々に満足いただけていると思う。当市には眠っている観光資源

がたくさんある。〔答〕市民の協力をいただき見過ごされている宝を情報共有して活用してまいります。



見事な桜並木(阿仁河川公園)

〔問〕去年の12月定例議会で全議員が指定管理を否決した。マタギの里経営再建の取組みにあたり市当局も会社任せきりでは無く積極的に関与するという方針のもと、従業員の給与は引き下げ、役員報酬は去年の10月から半額にしたのを、再発表によると月額報酬を社長40万円、常務30万円の支払いをしている。再建企業にあっては成果主義の導入による対応でよかったのでは。これでは従業員のモチベーションの低下になるのでは。

〔答〕社長は就任に際して、「私の給料は皆さんのサービスの成果と



見事な桜並木(阿仁河川公園)

所管事務
調査報告

北上市議会を視察研修

～広報公聴特別委員会所管事務調査～

広報公聴特別委員会は、所管事務調査のため5月19日岩手県北上市議会を訪問しました。調査内容は「議会報の編集方針等について」でした。実際に北上市議会報の編集について説明を受けることにより多くの教訓を得ることができました。

広報部会と広報部会の
2部会制として活動

参考になった点を列挙すると、
①現議員数26人のうち広報広報委員会では15人と半数以上の議員で構成されていること（本市議会は20人中6人）②本市議会のような特別委員会ではなく「広報広報機能の強化のため」常設の委員会に



「議会だよりの編集方針」等を学んだ北上市議会

していること。そして、広報部会と広報部会の2部会制として活動しているとのこと。③100号の記念号を発行したのを機に「きたかみ市議会だより」の「現在に至るまでの変遷」をまとめ検証し、新たに改善を進めていること。④議会改革がなされ本市議会にない内容も含まれていること。

議会モニター会議制度を試行

⑤現在「議会モニター制度」を試行し、市民から意見を聞きさらに改善に努めていること。具体的には、表紙の写真は公募制。採決の結果は項目ごとに整理し、その箇所に関する解説や賛成・反対討論をまとめる。一般質問のページでは議員の写真、質問のポイント、見出し、Q&Aの色分けなどと工夫と斬新さが読み取れたこと。
広報公聴特別委員会では、市民に親しまれかつ読まれる北秋田市議会だよりにするために、今回の所管事務調査で得たことを参考に、さらに、改善を進めることにしています。

林活議連
総会

木質バイオマス発電事業の状況調査へ

～平成28年度林活議員連盟総会～

北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会は、6月28日市役所で開催されました。本会は、北秋田市の森林と林業・林産業の活性化の実現に向けて活動することとし、議員全員（20名）で構成されています。

【平成27年度の主な活動報告】

▽北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会／平成27年6月11日▽北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会（木質バイオマス利用について・秋田県



今年度の事業計画などを確認した林活議連総会

林業木材産業課／ペレットボイラー冷暖房設備稼働状況・グリーンハウス）／平成27年7月8日▽秋田県林活議員連盟協議会定時総会（秋田市）／平成27年11月26日

【平成28年度の事業計画】

①森林の整備・林業・木材産業の振興及び地域の活性化に関する調査を行い、市はもとより、県連絡協議会を通して、国、県等関係機関に対して要望活動を行う。
②木材産業を取り巻く現状を把握し、活性化に向けた方策を探るための事業を行う。
③東北最大の木質バイオマス発電事業の状況を調査し、今後の林産業の成長産業化へ向けた取り組みを研究する。

【本会の役員】

▼（会長）松尾秀一▼（副会長）長崎克彦▼（事務局長）庄司憲三郎▼（幹事）佐藤重光、小笠原寿、関口正則▼（監事）松橋隆、板垣淳

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
[第37号]教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情	秋田県教職員組合 執行委員長 山 懸 稔 秋田県教職員組合大館北秋支部 支部長 成 田 政 己	採 択	提 出
[第38号]「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める」意見書提出の陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	継続審査	



無記名投票の様子

◎監査委員の選任
山形 聡伸（新任）
松葉町

北秋田市監査委員
の選任について

◎人権擁護候補者の推薦
柴田 節子（新任）
五味堀字五味堀

人権擁護委員候補者
の推薦について

本定例会に人事案同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

人事案件

本会議等の会議録がご覧になれます

北秋田市議会では、各定例会の本会議や臨時会の会議録（平成22年4月以降分）を市のホームページ内で公開しています。

これまで、議会事務局や鷹巣図書館において冊子で公開されておりますが、家庭や職場などから簡単に閲覧することができます。（HPアドレス→<http://www.city.kitaakita.akita.jp/shigikai/index.html>）

①〔北秋田市ホームページ〕



クリック

②〔市議会のページへ〕



クリック

③〔会議録検索閲覧のページへ〕

『市民の声』



北秋田市立阿仁合小学校
PTA会長

松橋 浩樹 さん（阿仁水無）

複式学級

平成28年度、新入生5名を新たに迎え全校児童32名でスタートしました。普段から子ども達を温かく見守ってくださる地域の皆様に大変感謝しております。

さて、阿仁合小学校は、児童数が少ないため複式学級を導入していますが、複式学級にも複式学級のメリットを感じることができました。異なる学年の子ども達が、常に一つのクラスで生活しているの

皆様の「声」を募集します！

※市議会では、市民の皆様に議会への関心と、より身近で親しみをもっていたり、様々な議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ちしております。

で、「上級生は下級生の面倒を見る、下級生は上級生から学ぶ」というクラスとしての協調性、そして児童一人一人の自主性が育っている感じがしました。

海外では、意図的に異なる学年の子ども達を、一つのクラスにまとめて教育をする学校もあるようです。これからの複式学級のメリットをどんどん見つけていきたいと思っています。

4名の議員を表彰

全国市議会議長会

第92回全国市議会議長会定期総会が5月31日、東京国際フォーラムで開催され、本市議会から4名が永年勤続者として表彰されました。

表彰を受けたのは、議員20年以上在職者表彰として吉田仁吉郎議員、議員15年以上在職者表彰として長崎克彦議員、佐藤重光議員、佐藤文信議員の4名で、6月定例会本会議の冒頭に、表彰伝達式が行われ、松尾秀一議長から表彰状が贈呈されました。

表彰の議員（4名）



あとがき

今年は昨年と比較すると、約2週間近く早い入梅となりました。気温も日によっては、寒暖の差が大きく、体調管理が難しい日々を過ごされた方も多かったのではないかと思います。

さて、6月定例会は、6月28日に閉会し、13日間の幕を閉じましたが、一般会計補正予算には、地域連携DMOの関連予算や、森吉山の樹氷と伊勢堂岱遺跡のブランド化への関連する予算が盛り込まれました。地域の特産品や、観光資源をPRするためのさらなる取り組みに期待をするところであります。

また、7月には第24回参議院議員通常選挙が行われました。私がこの原稿を執筆していた時は、選挙戦の真只中で結果を知る由もありませんが、今回から選挙年齢が18歳に引き下げられた皆様の投票行動がどのように反映されたのか注目されるところであります。

結びに、議会、だよりが多くの方の市民の皆様にご愛読いただけますよう、広報公聴委員会一同、毎回の編集委員会では知恵と汗を出し合いながら、作業に頑張っております。どうぞ忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

（武田 浩人）

次の定例会と各常任委員会は「9月」です市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（森吉庁舎）
市民福祉（合川庁舎）
産業建設（阿仁庁舎）

広報公聴特別委員会

委員長	福岡 由巳
副委員長	久留嶋 範子
委員	長崎 克彦
	吉田仁吉郎
	武田 浩人
	三浦 倫美